

琉球・沖縄 **Q&A** 年中行事

住宅の新築と施主の干支について



●Answer  
沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職  
帰依 龍照 (きえりゅうしょう)



**Q** 家を建てる時、世帯主の干支はよくないというのは何故ですか(Q1) 沖縄だけではなく(Q2) 来年、主人の干支です。今年、来年、再来年、いつ建てるとういいますか(Q3) ユンヂチに家を建てるとうい理由も教えてください(Q4) 家族の干支は、主人が戌、私が申、母が酉、子どもたちが子・寅未です(Q5)

**A** 質問が多岐にわたりますので、ご回答を順に要約させていただきます。と思います。

**Q1 世帯主の干支はよくない**

諸説ある中、干支が重なることを反言(はんごん)といい、予期せぬさまざまな出来事が起こりうるという考え方があります。反言とは、反⇨重複・言⇨干支という意味です。拡大解釈として、住宅新築時の干支と施主の干支が重なることを反言として、忌み嫌う考え方があります。また、沖縄では、シヨニン(生年・生まれた干支の年)はヤクトウシ(厄年)に準ずるといって考え方から、住宅新築を避ける

という慣習があります。ただし反言は、住宅新築とは無関係との考え方もありますので、一概に施主の干支はよくないということではありません。

**Q2 沖縄だけの習慣?**

反言は、中国由来の四柱推命(しちゅうすいめい)という占術にもありますので、沖縄だけでは限りません。一方、シヨニンは、沖縄色がやや強い慣習であることが知られています。

**Q3 干支の今年、来年、再来年**

来年の干支と施主であるご主人の干支が重なる場合、「今年と再来年は大丈夫」との考え方がある一方で、地域性や家庭性に富む沖縄では、さらに施主の干支を中心としてメーヤク(前厄)と、クシヤク(後厄)も間接的に重なるとの考え方もあります。つまり、今年も来年も再来年も、前・中・後と干支が重なることから、適切な年がないということもあります。

**Q4 ユンヂチに家を建てる**

ユンヂチ(閏月)とは、旧暦と新暦の調整のため設け

られたもので旧暦で1年間が13カ月ある年をいいます。古くは、重複する月の2回目の月のみをユンヂチと言いましたが、現在ではその年全体をユンヂチといいます。ユンヂチ以降の月(年)は、正暦とは異なる月(年)ですので、その時期は暦を基準としないという考え方があり、住宅建築などでは暦を気にせず都合がよい時期と拡大解釈されることがあります。

**Q5 家族の干支との関係**

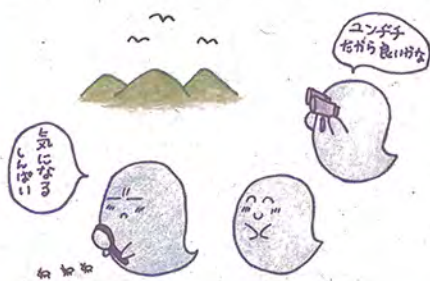
干支を基準として住宅建築を行う場合、最近の沖縄では施主のご主人の干支のみを参考にするケースが多いようです。Aさんの場合、申・酉・戌・子・寅・未ですから、各々の干支の前・中・後を考慮した場合(申・酉・戌・亥・子・丑・寅・卯・午・未)も参考にされますと、住宅新築は丑・卯・辰・巳・午・亥(、辰・巳)の年。つまり、十二支のうち、残り六支(シニ支)ということになります。

**「虫観(ちゅうかん)・鳥観(ちようかん)」**

今回の質問に沿って、ご回答は以上になります。人生の大きな節目である住宅

の新築ですから、「干支にこだわる」気持ちもわからないうちはありません。しかし、ものごとの判断には虫観・鳥観が「どちらも必要だ」と言われます。虫が地面に這うように、一人一人の生まれ年を確認していく観察力は必要なことです。一方で干支で新築が現実的でなくなった場合は、鳥が高い空から物事を見るように、大きな視点からの客観的な判断も必要ということですね。「人生 万事 匙加減(さじかげん)」という格言があります。干支に対しても、「いい加減」↓「ほど良い匙の加減」ができることをご期待いたします。

宗教や宗派によっては、干支にとらわれないという考え方も多々ありますが、あくまでも沖縄のしきたりという観点からのご回答とさせていただきます。



**【質問をお寄せください】** 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。